

スタディツアーを開催している団体(ツアー派遣先順)

団体名	電話	FAX	活動内容	ツアー派遣先
学び舎づくりの会 http://www.abc-manabiya.org/			「学びたいけれど場所がない」私たちは、主に途上国でこのように思っている人たちとリンクし、ともに「学び舎」の創造に向けて歩みたいと考えています。「場所がある」というのは大切なことです。読み書きを習う場所、情報を交換できる場所、ほっと一息つける場所。「場」があることで可能性が広がります。私たちは、在来素材と工法に現代建築の技術を加味した新しい形の学び舎をともに創造していきたい、と考えています。	予定 ポリビア
相模原市日中交流協会	042-769-8202	042-754-7990	日本と中国の市民相互の友好関係を深め、文化、経済の発展を目的として、1980年(昭和55年)11月29日に相模原市民を中心に創立されました。訪中団の派遣や会報「好(にいはお)」の発行、中国料理教室、中国語会話教室、中国を知る講座など中国への理解を深めるために多数の事業を展開しており、今後も日中交流活動を精力的に進めていく予定です。	友好都市無錫市をはじめ、中国各地への訪中団
川崎市平和館	044-433-0171	044-433-0232	川崎市が昭和57年(1982年)に行った「核兵器廃絶平和都市宣言」にもとづく平和推進事業の一環として、設立された。川崎大空襲など前大戦の惨禍を伝え、戦争の無い世界をめざすとともに、人権、飢餓・貧困、環境などの諸問題が解決されないと平和は実現されないのではないか、という観点から映像を駆使した常設展示を行っている。また所蔵品展、巡回平和展、企画展を行っている。	毎年8月に、川崎市の小学生が大戦中に集団疎開していた大山へのスタディーツアー(市教育委員会などと共催)
アウシュビッツの会かながわ	046-849-1694	046-849-1694	“いのちの尊さ・平和の大切さ”を伝えることを目的としています。第二次世界大戦後、1945年にポーランドの子どもたちが描いた絵画“子どもの目に映った戦争”を活動の柱として、各地で絵画展を開催します。現在は、横浜県民センター、横須賀市民活動サポートセンターで行っています。横須賀では“すかつ子セミナー”に参加し、国際理解コースを担当しています。また、アウシュビッツ平和博物館(福島県)の支援活動もしています。	福島県白河市、アウシュビッツ平和博物館
(財)川崎市国際交流協会 http://www.kian.or.jp	044-435-7000	044-435-7010	川崎市の一層の国際化を図り、国際相互理解の増進と国際友好親善に寄与することを目的として、次の事業を行っています。1. 諸外国の情報及び資料の収集及び提供 2. 市民レベルでの国際交流に関する事業の実施 3. 国際交流事業の調査及び研究 4. 民間国際交流団体及びボランティアの育成 5. 川崎市国際交流センターの管理運営	年度による
神奈川県日本中国友好協会	045-896-0124	045-896-0125	日本と中国の二国間の友好交流推進活動を行っている。 ・語学普及(中国語講座、スクーリング、ポップス、漢詩、スピーチコンテスト)・中国事情紹介(講演会、映画会、音楽会、料理講座)・交流会(在日留学生、研修生交流、懇親会)・日本語弁論大会(中国高校生日本語弁論大会)・日本語講座(ボランティア日本語指導者講習会、指導ほか)・情報提供(友好の輪会報、ホームページ日本と中国、速報)・地域、他団体との連携・中国各地(人民対外友好協会日本処)ほか交流	中国各地
大和地区日中友好協会	046-274-9125	046-274-9125	①日本中国の市民レベルにおける相互理解と友好交流を目的とし、月1回程度の日中市民の交流談話会。年3回程度の中国映画鑑賞会(ビデオを含む) ②中国文化紹介として、東京中国歌舞団の大和公演を過去5回開催した。 ③市民祭りに団体として参加し、中国物品の販売と、市民交流にかかわる ④中国語教室を年間を通じ開設している。15歳から高齢者まで常時20名前後が参加し、中国語の学習と中国の習慣、生活、文化紹介を行っている。 ⑤中国紹介雑誌「人民中国」購読と談話会、中国訪問団の企画 いずれも市民レベルの草の根活動が主体です。他の団体との共催事業、平和促進活動に積極的に参加しています。	中国
横浜日本中国友好協会 http://yokohama.oheya.jp/jcfa/			日本と中国の友好と平和な世界を希求して今日まで文化的活動を中心に市民レベルの運動として続けています。これからも中国の人々と日中友好のため草の根運動を続けてゆきたいと思えます。ボランティア活動として、県及び市から何らの援助も受けず、思想、心情、政党政派の違いを越えて日中友好のために活動を行います。中国語講座、太極拳講座、映画会、講演会、勉強会、中国訪問、在日華僑との交流、中国留学生との交流、中国との交流事業等々	中国
国連WFP協会 http://www.jawfp.org/	045-221-2515	045-221-2534	国連WFPの活動を国内において支援するNPO法人。食料援助活動の大切さを国内に広報し、支援の輪を広げている。又協会を支える会員を拡大し、さらにはWFP活動の資金を広く寄付として集めローマ本部に送金している。	西アジア・アフリカを中心に年回2~3回

(財)横浜YMCA http://www.yokohamaymca.org	045-662-3721	045-651-0169	・YMCA(1844年ロンドンに誕生)は現在世界122の国と地域で活動し、世界中のYMCAは10,000を超え、会員数約3,000万人です。・国連経済社会理事会に認められた国際的なNGOです。・日本のYMCAは、全国34の都市と大学で活動しています。・活動領域は、青少年・健康・教育・文化・福祉・国際に加え、緊急支援なども行い、多岐にわたります。・横浜YMCAは、2004年に120周年を迎え、県下22カ所で行っている。・タイ、ミャンマー、アフガニスタン、パレスチナなどでの社会開発や被災者・難民支援を行うと共に、各種スタディツアー、ワークキャンプ、青少年交流、リーダーシップ養成を行っています。	国際ボランティアinタイ(ワークキャンプ)毎年3月末・約8日間 ミャンマー・ボランティアの旅(医療公衆衛生交流活動)年末年始・約8日間
横浜市青葉国際交流ラウンジ http://home.h00.itscom.net/aobalng/e/	045-989-5266	045-982-0701	横浜市の委託を受け、国際交流活動・ボランティア活動を通じて地域住民と在住外国人が共に暮らしやすい地域社会の実現を目指し、次の目的を活動の中心にしています。(1)地域住民と在住外国人との相互理解と国際交流(2)地域住民の国際理解(3)在住外国人への支援(4)国際交流ボランティアの育成(5)国際交流自主活動グループの支援 具体的な活動内容として、政治、宗教、営利を目的とする活動を除いた国際交流・国際理解などの情報収集・提供、国際交流・理解に関する事業の企画・実施、外国語教室の企画運営及び外国人のための日本語教室の企画・運営・実施等です。	県内外の国際交流団体(あーすぶらざ、Y OK E、他ラウンジ等)、図書館、公共施設などに於ける情報提供事情を学ぶ見学ツアーなど
(独)国際協力機構 横浜国際センター(JICA横浜) http://www.jica.go.jp/	045-663-3251		「よりよい明日を、世界の人々と。」をスローガンに国際協力活動を展開するJICA(ジャイカ)の神奈川県に於ける窓口機関です。主な業務は開発途上国からの研修員の受入、海外派遣ボランティアの募集・選考・訓練、草の根技術協力、開発教育支援です。学校や社会人講座などの訪問見学を歓迎します。センター内の海外移住資料館は入場無料、土日も開館しています。またJICA職員や海外ボランティアによる出前講座も行っています。	神奈川県内の小中高校に勤務する教員を対象とした海外研修。訪問国は、毎年変わります。
(特活)KFV http://www.kfv.jp	044-751-7582	044-740-5532	KFVは「川崎市外国人市民代表者会議」委員の経験者5人で設立しました。日本人市民との相互の理解や外国人市民同士のネットワークを目指しています。活動内容は、国際理解教育を基本柱とし、川崎市教育委員会の「民族文化講師ふれあい事業」のコーディネーター及び講師派遣、通訳、翻訳、世界の文化紹介、チャリティーイベントなどを行い、外国人への支援などを行っています。現在、正会員、賛助会員、合わせて130名で、心を合わせて楽しく活動しています。	橋りサイクルコミュニティセンター、ゴミ処理場
相模原市国際交流協会 http://www.sia-jp.net/	042-772-3570(会長宅)	042-772-3570	2003年度の主な活動・「ワシントンDCユースオーケストラin相模原」(DCユースオーケストラの団員50名招待、7,000人の市民に聴いてもらう・トーク・イン・コン(韓国学習会)13回実施・能開大、JICAの外国人留学生ホームステイ受け入れ・国際奨学金基金への協力・パラオの旅実施-パラオの学校との交流・「国際交流ニュース」発行(現在まで223号)	韓国、パラオ共和国
good ! http://www.geocities.jp/gdwcp/	03-3973-1631	03-3973-1631	「不登校・ひきこもり経験者を含む、すべての若者」を対象とした、きっかけ作りのボランティア・ワークキャンプ(タイ・韓国・スリランカなどで井戸掘りなどを実施)を中心に活動しています。事務所はフリースペースになっており、キャンプ参加者、学生、社会人、フリーター、不登校・ひきこもり経験者・外国人など、多くの若者が集まる交流の場になっており、人間関係に不得意感を持つ若者の共同生活の場にもなっています。	海外では韓国・タイ・スリランカ 国内では静岡県、新潟県、長野県での農業体験ワークキャンプを実施しています。
湘南ラオス友好会	0467-23-1263	0467-23-0062	鎌倉市を主体に湘南各市の協力を得て放置自転車をラオス人民民主共和国、山岳少数民族児童生徒の通学用に贈り、就学率の向上に寄与。今年度よりラオス保健科学大学学生の通学、地方における医療活動、診察用に供与実施中。各種支援事業を民間の立場でラオス側と計画、友好親善を図っております。	ラオス
(特活)開発と未来工房 http://www.adf.jp	045-303-1903	045-302-0327	◇チベット伝統医療復興支援 ◇モンゴル持続的遊牧システム構築 ◇モンゴル大草原エコロジースクール ◇懐かしい未来へ：伝統智を活かした未来のオルタナティブ ◇その他	モンゴル
鎌倉ユネスコ協会 http://www.unesco.or.jp/kamakura/	0467-22-8949	0467-23-6883	ユネスコ憲章の理念に基づき、市民による国際理解・交流や国際協力のボランティア活動を通じて「人類の知的および精神的連帯」を深める運動を続けています。ユネスコの頭文字に表される教育、科学、文化の活動分野の中でも特に基礎教育の普及が第一と考え、「世界識字運動(寺子屋運動)支援」を実践すると共に次世代に残すべき「世界遺産活動」にも協力している。具体的な活動としては、カンボジア、ペルー、ブラジル、ネパール等の識字支援、パーミヤン、高句麗古墳の支援を行っている。	ペルー、ブラジル、カンボジア
(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC) http://www.ngo-jvc.net/	03-3834-2388	03-3835-0519	アジア・中東・アフリカの9カ国で国際協力活動を行っているNGOです。パレスチナやイラク、アフガニスタンでは医療や食糧などの緊急支援や難民の子どものための支援を、ベトナム、カンボジア、タイ、ラオス、南アフリカでは農業や自然資源管理などの分野で長期的な支援を行っています。また、日本と南北コリアをむすぶ平和交流活動なども行っています。	プロジェクト各地(タイ・ラオス・カンボジア・ベトナム・南アフリカ・韓国など随時(不定期))

(特活)地球の木 http://homepage1.nifty.com/EarthTree	045-228-1575	045-228-1578	地球の木は、1980年代後半に起きたアフリカ飢餓への緊急支援をきっかけに設立されました。誰にでもできることとして、1ヶ月にランチ1食分の500円を集め、支援活動がはじまりました。現在、カンボジア・フィリピン・ラオス・ネパールの4カ国で困難な状況にある人たちの自立を助ける支援を行っています。また、報告会や学習会、開発教育講座などを開催し、現地の人たちの暮らしや文化、現地の人たちが抱えている環境・人権問題と日本の関わりなどを地域や学校に伝え、モノにあふれた日本の私たちの暮らしを考えます。	フィリピン、ネパール、ラオスなど
ジャパンエイベックスクラブ	0465-47-2886	0465-47-2886	支援現地の要請に基づくスタディーツアーの実施	フィリピン、タイ、ラオス
フィリピン・アフリカを助ける会	0465-74-5233		フィリピンのタンボ島、イリガン、アフリカの新コンゴ民主共和国等で児童給食、奨学金、校舎建設、井戸作り、生業創造、医療について援助。	フィリピン
(特活)ネパール・ミカの会 http://www.nepal-mika.jp/	042-726-1762	042-726-1762	“ゆっくりとささやかに、心を込めて、手から手へ”をモットーに、ネパール教育支援活動に毎年2回会員(12~3名)により現地を訪れ支援実績の確認、次年度以降の支援内容の調査と共に現地の人々との交流を継続している。 ・校舎建設 12校 33教室 9職員室 2図書室(中学校1校、高校1校新設)含む ・図書寄贈 ・図書館建設小学校-大学14校、 合計5950冊 ・校舎・保健所の修復 8箇所 ・備品・設備・計測器の寄贈 ・制服支援 1044名分 ・奨学金制度 ・タンセン・ルンビニ地区での教育関係者との懇談会	ネパール教育支援の旅(年1回)カトマンドゥ〜ルンビニ〜タンセン
ネパール教育支援の会 NESAs http://homepage2.nifty.com/nesa/	0465-35-4058(090-1451-4059)	0465-35-4058	「楽しみながら支援活動」を合言葉に、ネパールで活動を続けています。カトマンドゥで女性のための職業訓練教育センターを、農村では山羊、豚の貸出制度を貧困と病気からの脱出を計る人々のために行っています。ネパールの人々には「自立」してほしいのです。それをサポートする団体でありたいと思っています。	ネパール
アジアの女性と子どもネットワーク(AWC) http://www.awcnetwork.org	045-650-5430	045-650-5430	私たちは、アジアの中でも弱い立場にある女性や子どもたちの権利を守るため、教育支援を中心に活動しています。現在までにタイ北部・東北部に六校の学校を建設しました。毎年これらの学校を訪ねるスタディーツアーも実施しています。また、重大な人権侵害にある“子ども売春”“子どもポルノ”の根絶を目指し、日本国内での援助交際・性教育問題も含め講演会やシンポジウムを開くと共に、意識調査報告書の作成を通じ、啓発に努めています。	タイ東北部・北部
(特活)地球市民ACTかながわ/TPAK http://www.tpak.org	045-622-9661	045-622-9661	・アジア(タイ、ミャンマー、ラオス、インドなど)の子どもたちの就学支援。山岳民族、孤児院の支援。・かながわで、トークセミナー、ボランティアインターン制度、国際ボランティアの育成、地球市民意識の啓発活動。	タイ、ミャンマー、ラオス、インド(毎年3月8月)
(特活)FHCYアジア障害者パートナーズ http://www.fhcy.org	045-831-8870	045-831-8871	アジアの障害者を支援する活動を行います。タイ南部の農村部で障害者作業所作りと運営支援、障害者グループのネットワーク創りを進めています。地域に根ざした自主製品作りと貿易活動を通して障害者の自立生活を実現します。また、障害者リーダーや専門家の日本研修により人材育成を図っています。国内では、アジアの障害者製品のPRと販売、アジア障害者問題の啓発などを行います。スタディーツアーも毎年2回、実施しています。	タイ
横浜市青年団体連絡協議会 Aid for Honduras 実行委員会 http://shiseiren.hp.infoseek.co.jp/	045-662-7348		多くの青年たちに青年活動を知ってもらい、青年の社会参加を図ろうと長い間、青年活動の輪を広げるためのさまざまな活動を行ってきました。運営から活動まですべてボランティア仲間たちにより、青年の青年による青年のための活動をモットーとして、青年海外派遣や招へいなどの国際交流活動、国内の他都市の青年交流、キャンプ、スキーなどの講座や各種イベント、青年のグループ・サークル活動の推進など幅広い活動を展開しています。	タイ
葦の会	042-750-4150	042-750-4150	主にベトナム、ラオス、カンボジアからのインドシナ難民のために日本語教室、子ども学習教室(毎週金曜日午後5時~7時)、生活相談(毎週火曜日午後1時~4時)などに対応しています。子育て、仕事、病気など様々な相談があります。現在はインドシナからの人々だけでなく、中国残留帰国の人々や子どもたちも、学習教室に参加したり相談に来ています。	カンボジア王国
あしたの会・かわさき	044-944-7458	044-944-7458	インド・マハラシュトラ州ブネー市郊外にあるシルール地区の村、10村の女性を対象として、識字教育、職業教育、衛生教育などのプログラムを実施しています。現地では「あしたの会・インド」のアーミン・モディさんが会長として活動しています。「あしたの会・かわさき」はこれらの活動を支援しています。	インドマハラシュトラ州ブネー市郊外村訪問

http://homepage3.nifty.com/ankk/			援しています。活動内容 ①募金活動 ②インド村での支援活動 ③村の女性・子どもとの交流 ④不要な機材の収集と援助 ⑤会報の発行 ⑥インド料理教室などイベント開催 ⑦女性センター建設サポート	同ツアー
(特活)草の根援助運動 http://p2aid.com/	045-772-8363	045-774-8075	第3世界のNGOと住民組織と共同で開発プロジェクトの実施、スタディツアーの実施、海外パートナーNGOスタッフを招いての学習会、学校出前講座等の開催、日本政府のODAなどに関する政策提言、自治体の国際支援協力施策への提言、フェアトレードの実施など	インド、インドネシア、フィリピン